

地理空間計測・活用技術セミナー 2017 in 仙台 開催報告

本セミナーでは、現在、業界にとって避けて通れないi-Constructionの建設プロセスにおける最も重要かつ基盤となる地理空間計測技術について、最新技術の紹介と利活用動向取り上げるとともに、開催地にちなんだ震災の復旧・復興に関する技術展開や、その他の話題を提供いたしました。例年よりもバラエティに富んだセミナー内容となり、多数の方々に参加いただきました。関係各位および、運営にご協力をいただきました地区会員の皆様にあたたためて感謝申し上げます。

■開催概要

日 時：平成29年11月17日（金） 9：50 ～ 17：05
場 所：TKPガーデンシティ仙台勾当台（ホール1）（宮城県仙台市）
主 催：公益財団法人日本測量調査技術協会
後 援：国土交通省国土地理院
一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部
一般社団法人全国測量設計業協会連合会

■基調講演と話題提供

横山氏からは『一定垂直倍率立体地形解析図とその応用』として基調講演が行われ、会場に展示された立体図について自ら解説するとともに、立体視メガネと立体図が来場者へ配布されました。また、木下氏による特別講演『200億円の義援金が集まった台湾』では、日本国内ではあまり認知されていなかった、東日本大震災の際に、台湾から被災地が受けた支援についての詳細が紹介されました。計測技術以外に関する話題提供は、当協会主催のセミナーにおいて本セミナーが初めてとなりました。

■参加人数

152名（仙台会場135名、東京会場17名）

■CPD証明

参加証明書：測量CPD、設計CPD対象プログラム各6ポイント

発表証明書：測量CPD2ポイント



横山 隆三氏



木下 諄一氏

技術セミナー 1			
1	高度化する地理空間情報社会と標準化 ―測技協の取り組み―	測技協	太田 有紀
2	未来の地理空間情報社会と測量のかかわり ～測技協GIS部会の活動を通して～	測技協 GIS部会	中野 崇
3	液状化判読のための空中写真による判読要領、判読チャート	測技協 国土管理・コンサル部会	安田 岩夫
災害復興ワークショップ 1			
4	福島ロボットテストフィールドの活用に向けての活動	株式会社菊池製作所	一柳 健
5	固定翼ドローンによる震災復興、台風豪雨災害の3D計測事例	株式会社タックエンジニアリング	原田 昌大
6	東日本大震災遺構等の3Dデジタルアーカイブ作成における計測手法について	東北大学総合学術博物館	鹿納 晴尚
基調講演			
7	一定垂直倍率立体地形解析図とその応用	岩手大学名誉教授 株式会社横山空間情報研究所 代表取締役	横山 隆三
特別講演			
8	200億円の義援金が集まった台湾	台湾在住 小説家・エッセイスト	木下 諄一
技術セミナー 2			
9	準天頂衛星みちびきが創る未来	一般財団法人衛星測位利用推進センター (SPAC) 専務理事	三神 泉
10	航空レーザ測深 (ALB) の河川への適用事例	測技協 空中計測・マッピング部会 レーザワーキングG	岡崎 克俊
11	Pegasus : Backpackによるi-Constructionへの取り組み・九州災害調査への利活用	ライカジオシステムズ株式会社	桑野 裕士



会場